

障害児支援利用計画案(サンプル)

資料2

利用者氏名	〇〇 〇〇様	障害支援(程度)区分		相談支援事業者名	〇〇相談支援事業所
保護者氏名	〇〇 〇〇様	本人との続柄			
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	〇〇 〇〇
地域相談支援受給者証番号					

計画作成日	平成〇年〇月〇日	モニタリング期間	〇月毎	利用者同意署名欄	
-------	----------	----------	-----	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	小学校で楽しく遊びたい。(本人) して良いことと悪いことの区別ができるようになってほしい。行動の調節ができるようになり、お友達と楽しく遊べるようになってほしい。(母)
総合的な援助の方針	本児が生活場面の支援や専門的な療育を受けることで、保護者の負担や疲労感が減り、親子とも楽しく生活が送れるようになる。
長期目標	本児が発達の特性に合った対応や環境づくりなど必要な支援を受けながら、家庭生活や学校生活を楽しく過ごせるようになる。(1年)
短期目標	新たな環境(小学校生活や支援環境)に対して少しずつ慣れ、他者との関わりの中で楽しく活動できることが増える。(6か月)

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	して良いことと悪いことをわかって行動できるようになってほしい。(母)	専門的な療育を受けることで理解できることを増やし、さまざまなスキルを身につける。	平成〇年〇月	放課後等デイサービス(くろーばー)3日/月	療育の積み重ねによって、少しずつできることを増やしていく。	平成〇年〇月	関係機関、サービス提供事業所とサービス等調整会議を定期的に行う。
2	グループ療育を受ける機会を増やしたい。(母)	さまざまな人とのかかわりを増やし、発達・療育支援を受ける。	平成〇年〇月	放課後等デイサービス(〇〇〇〇〇〇)5日/月	同上。定期的に通う。	平成〇年〇月	同上。
3	お母さんが仕事に行っている間、家族以外と過ごす。(本人)	母が仕事の間本人の居場所を確保し、安心することができる。	平成〇年〇月	放課後児童クラブ 2日/週	それぞれの場所、支援者に慣れる。	平成〇年〇月	本人の様子について、確認していく。
4	両親や本人が困ったときや判断に迷うときに相談に乗って欲しい。	本人、家族の状況や意向を確認しながら、利用するサービス等を一緒に決めていく。	随時	障害児相談支援 随時 〇〇小学校支援級	家族以外の援助に慣れる。	平成〇年〇月	支援に必要な情報を家族が援助者に伝えていくフォローを行っていく。
5							
6							